

## 事後評価シート

調査研究課題名	航空管制システムの海外展開に関する調査
担当者	元研究調整官 小澤康彦、元研究官 渡辺伸之介、研究官 小田浩幸
① 当初目標と目標達成度	<p>本調査は、航空管制システムの海外市場の獲得にあたり我が国と競合することが想定される競合国、競合企業の海外市場獲得戦略に関する情報等について調査を行うことを目的とした。</p> <p>調査研究の成果として、日本企業の海外展開の課題の整理と、得られた知見を関係者に提供し、国土交通省の政策部局に対して我が国の取組みの検討に資する情報を提供したことで、当初の目標を達成できたものとする。</p>
② 調査研究内容の妥当性	<p>本調査は、初年度に、文献調査、日本企業や商社に対するヒアリングを実施し、課題等を整理した上で、次年度にシンガポールにおいてシンガポール政府や欧米企業等にヒアリングを実施した。政策部局や日本企業のニーズに合わせて調査を行っており、調査結果は、今後の航空管制システムの海外市場の獲得にあたり有効な情報であった。</p>
③ 調査研究の仕組みの妥当性	<p>調査を進める過程で政策部局と綿密に連携を取り、調査の進め方などに関する助言をいただいた。</p>
④ 成果と活用	<p>すでに省内関係部局や関係団体に調査した情報を提供した。また、調査内容の一部を当研究所のホームページで広く公表することを予定している。</p>
⑤ その他	<p>調査研究内容を PRI Review 52 号、56 号に掲載するとともに、当研究所が主催した平成 26 年度研究発表会においても、成果の一部について報告を行っている。</p>